

東海散士 とうかいさんし 小説家、政治家。嘉永五年十一月一日上總國富津
(會津陣屋) 生れ、大正十一年九月二十五日歿(八五二―九二二)。本名
柴四朗、初名茂四郎。明治五年官軍の會津城攻撃の際捕虜となる。釋
放後弘前の東興義塾、會津の白新館等々學ぶ。西南役に從軍後谷千城
等の知遇を得、十一年アメリカに留學。歸國後明治期政治小説の代表
作『佳人之奇遇』を出版。二十五年衆議院議員。陸軍大將柴五郎の兄。
著書『東洋之佳人』(明治二十一年一月十五日博文堂)、『埃及近世
史』(明治二十二年十一月十八日自刊、博文堂書店 敬業社發行)、廣澤牧
老人遺稿・一〇(本名、編、明治二十四年五月十一日自刊)、少年
訓(本名、合著・山縣悌二郎編、明治二十三年十月五日内外出版協
會「少年園叢書」)、白鷺戰争材川六郎(明治二十六年十一月二日有
朋館)等。